

アイデア提案用紙

受理番号

24-A001

標 題	
公用車の車検切れ防止対策、法定点検等の効率的な実施について	
想定される効果 (該当項目をチェック、複数選択可)	<input type="checkbox"/> 市民サービスの向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務の合理化 <input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減 <input type="checkbox"/> 収入の増加 <input type="checkbox"/> 市のイメージアップ <input type="checkbox"/> 職員の意識変革 <input type="checkbox"/> 政策・事業の改善
提案を総括すべき課	財産管理課
1 今のやり方(現状・問題点)……具体的に	
<p>現在、公用車の定期、法定点検及び車検更新等の事務については、財産管理課の管理車両は、財産管理課、その他補助金等により各課が購入した車両については、担当課が実施している。過去は、車両購入業者が定期点検、車検時の到来時期などを知らせるハガキを、それぞれ所有する担当課に対して、サービス業務として通知していました。しかし、定期点検や車検時の業者選定を入札等で決定するようになったため、サービスとして送っていたハガキを出さない業者が増えてきた。担当課の多くは、そのハガキにより、車検等の到来を知って、車検更新を行っていたが、そのハガキが送付されなくなったこと。また、行革に基づき、職員の減員等により、職員の多忙により、特定の事務以外の処理が十分に引き継がれず、おざなりになる傾向にあることなどが挙げられる。</p> <p>また、一部の課では、補佐の下が、いきなり新採用職員ばかりになり、中堅職員がいがないため、十分な事務引継ぎ、職員指導ができない状況もある。</p> <p>(公用車の保有台数 財産管理課132台、水道局が23台、下水道が15台、高齢介護課、15台(うち8台財産管理課) 国保年金課4台 合計189台 それ以外に消防署及び清掃事業所が管理する車が多数存在)</p>	
2 私の考え方(改善案)……具体的に	
<p>200台以上ある公用車(消防車などの特殊車両は除く)は、半年点検、1年の法定点検、2年に一度の車検更新などの各種点検等の委託行為が、毎年発生しています。そして、それぞれの公用車保有課がバラバラに一台ごとの点検等を委託するのでは、一台ごとの値引き率が安く、入札等による競争原理も働かず、その効果が期待できません。</p> <p>このため、財産管理課がすべての公用車の一年間分の点検等の入札行為を3月又は4月に一括して行い、その年度の委託先業者を決める。そして契約条件として、点検時期の到来する時期の1ヶ月前までに、公用車保有課と財産管理課へ通知をする旨の契約条項を付記しておく。これにより点検及び車検更新の見落としが無くなること。また、業者も大量発注によるメリットがあり、競争入札の原理がいきってくる。</p>	
3 このように良くなります(改善効果)……数量等を具体的に	
効果額 (算定根拠)	現在、用紙等の単価契約、パソコンのウイルス対策ソフトの入札などを行っているものと同様に、担当課の事務が簡略化、合理化され、それに要する人件費の削減及び一括委託により、執行全体の経費の削減が図れる。
その他の効果	委託契約事務をそれぞれの担当課の職員が行う従事時間及び契約課に依頼するなどの事務が省け、財産管理課へ予算配当を集中することで、伝票処理事務も大幅に節減できる。 本来、車両は集中管理していたものが、国、県からの補助金で購入したことにより、担当課にそれらの事務処理を行わせていたが、現在の職員が十分にその事務を精通していない状況がある中で、点検漏れ、車検切れ等を抑制できる。また、職員の本来業務への専念ができることにより、市民等への決め細やかな対応ができるようになる。